



2026年4月15日

各位

会社名 スター・マイカ・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 水永 政志
(コード 2975 東証プライム)
問合せ先 執行役員 長谷 学
TEL 03-5776-2785
URL <https://www.starmica-holdings.co.jp>

住宅設備の供給条件調整及び受注停止等の報道に係る当社業績への影響について

当社グループでは2026年4月10日以降、株式会社LIXIL及びTOTO株式会社等の住宅設備機器メーカーが、中東情勢緊迫化に伴い住宅設備の供給条件を調整する可能性を表明したこと、並びに関連する一連の報道により、株主・投資家の皆様から当社グループの商品供給や業績への影響に関するお問合わせを頂戴しております。

これを受け、フェア・ディスクロージャーの観点から、現時点における当社グループの現状認識及び業績への影響について、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 住宅設備調達に関する現状認識

当社グループでは現在、各サプライヤーと緊密に連携し、詳細な情報収集に努めており、一部の建材や設備において納期遅延等が発生する見込みであることを把握しております。本件は当社グループに限らず、住宅業界全体に波及し得る共通の課題であると認識しております。一方、マクロ的な視点では、政府による備蓄原油の活用やメーカー各社による代替策の検討が進んでおり、動向を注視しております。

2. 当社グループの商品供給や業績への影響

現時点において、当社グループの業績への影響は限定的であると判断しております。

一部の物件において工期調整が発生する可能性は否定できませんが、当社グループの主業であるリノベーション事業においては、賃貸中物件を数多く保有していること、現時点で十分な販売在庫を確保していることに加えて、リノベーションの内容及び着工・販売開始のタイミングを一定程度コントロール可能であるという事業構造上の強みを有しております。これらにより、販売戸数の安定化が可能であると見込んでおります。

過去には新型コロナウイルス感染症拡大に伴う建材・住宅設備の供給遅延に際しましても、オペレーションの細やかな調整や代替部材の確保、販売スケジュールの前倒し等を通じて安定的な供給を継続いたしました。今回においても各サプライヤーと緊密に連携しながら、高品質なリノベーションマンションの安定供給継続に可能な限り努めてまいります。

以上